

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【公開番号】特開2014-32192(P2014-32192A)

【公開日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2013-157664(P2013-157664)

【国際特許分類】

G 01 N 21/78 (2006.01)

G 02 B 13/00 (2006.01)

G 02 B 3/00 (2006.01)

【F I】

G 01 N 21/78 C

G 02 B 13/00

G 02 B 3/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年4月10日(2017.4.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

複数の隔置反応領域を有する塊と、

少なくとも1つの励起周波数を含む光を放射する光源と、

対物レンズ系を備えるレンズ系であって、前記対物レンズ系は光源及び複数の反応領域間に配置され、前記対物レンズ系は視野レンズ配列及び瞳面を備え、前記瞳面及び前記光源は視野レンズ配列の異なる側に配置され、前記視野レンズ配列は前記光源及び前記複数の反応領域間に配置され、前記視野レンズ配列は複数の視野レンズ配列要素を備え、前記視野レンズ配列要素のいずれか1つが、前記光源及び前記視野レンズ配列間に位置する瞳絞りを前記瞳面上に位置する瞳に結像することができるよう、視野レンズ配列内のいずれか1つの視野レンズ配列要素の湾曲の半径、厚さ、及び湾曲の中心の位置は可変であり、前記光源及び前記反応領域間の光束経路中に配置され、瞳面上に位置する瞳の配列が視野レンズ配列によって生成される、レンズ系と、

複数の反応領域から放射される放射光束を受けるように配置された検出器とを備える器具が開示され、前記対物レンズ系はさらに前記複数の反応領域及び前記検出器間に配置され、前記レンズ系は、反応領域が検出器上に結像されるよう、前記視野レンズ配列及び検出器間に放射光対物レンズを追加で備える。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0007

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

励起光束は、光源及び複数の反応領域間に配置されたレンズ系を通過し、前記レンズ系は対物レンズ系を備え、前記対物レンズ系は視野レンズ配列及び瞳面を備え、前記瞳面及び光源は視野レンズ配列の異なる側に位置し、前記視野レンズ配列は前記光源及び前記複数の反応領域間に配置され、前記視野レンズ配列は複数の視野レンズ配列要素を備え、前

記視野レンズ配列要素のいずれか1つが、前記光源及び前記視野レンズ配列間に位置する瞳絞りを前記瞳面上に位置する瞳に結像することができるよう、視野レンズ配列内のいずれか1つの視野レンズ配列要素の湾曲の半径、厚さ、及び湾曲の中心の位置は可変であり、前記光源及び前記反応領域間の光束経路中に配置され、瞳面上に位置する瞳の配列が視野レンズ配列によって生成される。方法はさらに、前記色素によって放射される放射光束を、検出器を使用して検出する工程を備え、前記放射光束は、前記対物レンズ系を通過し、前記対物レンズ系及び前記検出器間に配置された放射光対物レンズによって、前記検出器上に集束される。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

複数の隔置反応領域を有する塊と、

少なくとも1つの励起周波数を含む光を放射する光源と、

対物レンズ系を備えるレンズ系であって、前記対物レンズ系は光源及び複数の反応領域間に配置され、前記対物レンズ系は視野レンズ配列及び瞳面を備え、前記瞳面及び前記光源は視野レンズ配列の異なる側に配置され、前記視野レンズ配列は前記光源及び前記複数の反応領域間に配置され、前記視野レンズ配列は複数の視野レンズ配列要素を備え、前記視野レンズ配列要素のいずれか1つが、前記光源及び前記視野レンズ配列間に位置する瞳絞りを前記瞳面上に位置する瞳に結像することができるよう、視野レンズ配列内のいずれか1つの視野レンズ配列要素の湾曲の半径、厚さ、及び湾曲の中心の位置は可変であり、前記光源及び前記反応領域間の光束経路中に配置され、瞳面上に位置する瞳の配列が視野レンズ配列によって生成される、レンズ系と、

複数の反応領域から放射される放射光束を受けるように配置された検出器とを備える器具が開示され、前記対物レンズ系はさらに前記複数の反応領域及び前記検出器間に配置され、前記レンズ系は、反応領域が検出器上に結像されるよう、前記視野レンズ配列及び検出器間に放射光対物レンズを追加で備える。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

用語「湾曲の半径」は、視野レンズ配列要素の湾曲に対応する半径に関する。同様に、用語「湾曲の中心の位置」は、視野レンズ配列要素の湾曲に対応する中心の位置に関する。したがって、各視野レンズ配列要素の湾曲の半径、湾曲の中心の位置、及び、厚さは、個々の光強度及び光整形特性が最適化されるように、調節され得る。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

本明細書に記載の器具は、追加で、前記反応領域の上端部に熱を供給するための加熱蓋を備えてよく、前記加熱蓋は、反応領域と位置合わせされた開口部を備え、前記レンズ系は、前記レンズ系を透過した光が、加熱蓋の反応領域に近い方の側上に集束されるよう、前記光源及び前記反応領域間に配置される。加熱蓋は、反応領域が熱循環中に昇温状態に曝される場合に、反応領域内の液体の蒸発を防止する。

【誤訳訂正 6】**【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0035**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0035】**

励起光束はレンズ系を通過する。レンズ系は、光源及び複数の反応領域間に配置された対物レンズ系を備える。対物レンズ系は視野レンズ配列及び瞳面を備え、前記瞳面及び前記光源は視野レンズ配列の異なる側に位置し、前記視野レンズ配列は前記光源及び前記複数の反応領域間に配置され、前記視野レンズ配列は複数の視野レンズ配列要素を備え、前記視野レンズ配列要素のいずれか1つが、前記光源及び前記視野レンズ配列間に位置する瞳絞りを前記瞳面上に位置する瞳に結像することができるよう、視野レンズ配列内のいずれか1つの視野レンズ配列要素の湾曲の半径、厚さ、及び湾曲の中心の位置は可変であり、前記光源及び前記反応領域間の光束経路中に配置され、瞳面上に位置する瞳の配列が視野レンズ配列によって生成される。方法はさらに、前記色素によって放射される放射光束を検出する工程を備え、前記放射光束は、前記対物レンズ系を通過し、前記対物レンズ系及び前記検出器間に配置された放射光対物レンズによって、前記検出器上に集束される。